愛雪・友雪・親雪フェスティバル!

第33回 八雲さむいべや祭り

2月8日～9日、道立公園噴火湾パノラマパークで「第33回八雲さむいべや祭り」（主催　実行委）が開催され、両日合わせ約7,400人が来場しました。今回は5名のファイターズガールを招待し、前夜祭、本祭共にダンスパフォーマンスで会場を盛り上げました。また、八雲名物「二海カレー」や木彫り熊のPRにも協力していただきました。

今年は雪不足の影響もあり、氷の滑り台は全長を50メートルと距離を短くしたものもを2基へと変更し、バナナボート「白熊号」についてはコースを変えての開催となりました。

友雪お楽しみゲーム大会では、景品を獲得しようと子どもたちで溢れ、大盛況でした。

また、八雲高等学校吹奏楽局&八雲中学校吹奏楽部＆八雲エクストラウインズによる演奏、バンド演奏、もちつき囃子などが行われたほか、八雲の食材を使った「二海カレー」「北里八雲牛のねぎバラ焼き」「やくもっちいもなか」「風の子もちの雑煮」「イモ団子汁」「いももち」「かぼちゃスープ」「牛めしネギ丼」など数多くの食べ物が振る舞われました。

八雲の特産品が当たるビンゴ大会では、なかなかビンゴにならない場面もありましたが、500名近くの参加者で大賑わいとなり、最後は恒例の餅まきで締めくくりました。

1年間交通安全の勉強を学んだね!

交通安全教室「こぐまクラブ」が開催

1月27日に熊石保育園、28日に相沼保育園で交通安全教室「こぐまクラブ」が開催されました。

「こぐまクラブ」は両保育園ともに年4回開催され、道路の渡り方や傘の差し方、冬道の危険など交通安全について、八雲警察署の駐在所長や交通安全指導委員会に協力していただきながら毎年実施しています。

今年度最後となる今回は、冬の交通安全の勉強をした後に修了証書が手渡され、園児たちはとても嬉しそうに喜んでいました。

来年度は2つの保育園が統合されることから、新たな保育園としてこれからも「こぐまクラブ」を続けていくそうです。

町へ貴重な文化財の寄贈がありました

2月4日、役場にて住初町1区在住の水野秀次さんから掛軸「至孝化群生」「思無邪」徳川慶勝筆、和歌「冬月」貞徳院矩姫（慶勝正室）筆、「主敬見天真」徳川義親筆など計8点が町に寄贈されました。

「至孝化群生」は、為政者の心構えを説いた文章で、皆が親を大事にして孝行をするように、皆を教育するという意味です。慶勝が何度か書写している文言で、印に従一位とあることから明治2年9月以降の書です。

水野さんは「八雲の開拓を語る一助になればと寄贈した。町の文化財として将来にわたって大切にし、多くの人に見てもらいたい」と話していました。